

様式1号  
(総括票)

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	花村産業株式会社							
代表者名	氏名	花村 泰年	役職名	代表取締役				
主たる事務所の所在地	長野県松本市庄内2-5-47							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	2322 アルミニウム第2次製錬・精製業						
主たる事業の概要	アルミニウム二次合金地金製造、 鉄・非鉄金属製品加工・販売、鉄・非鉄金属原料取扱							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	1,951	kl	その他ガス排出量合計	6,732	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	49	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

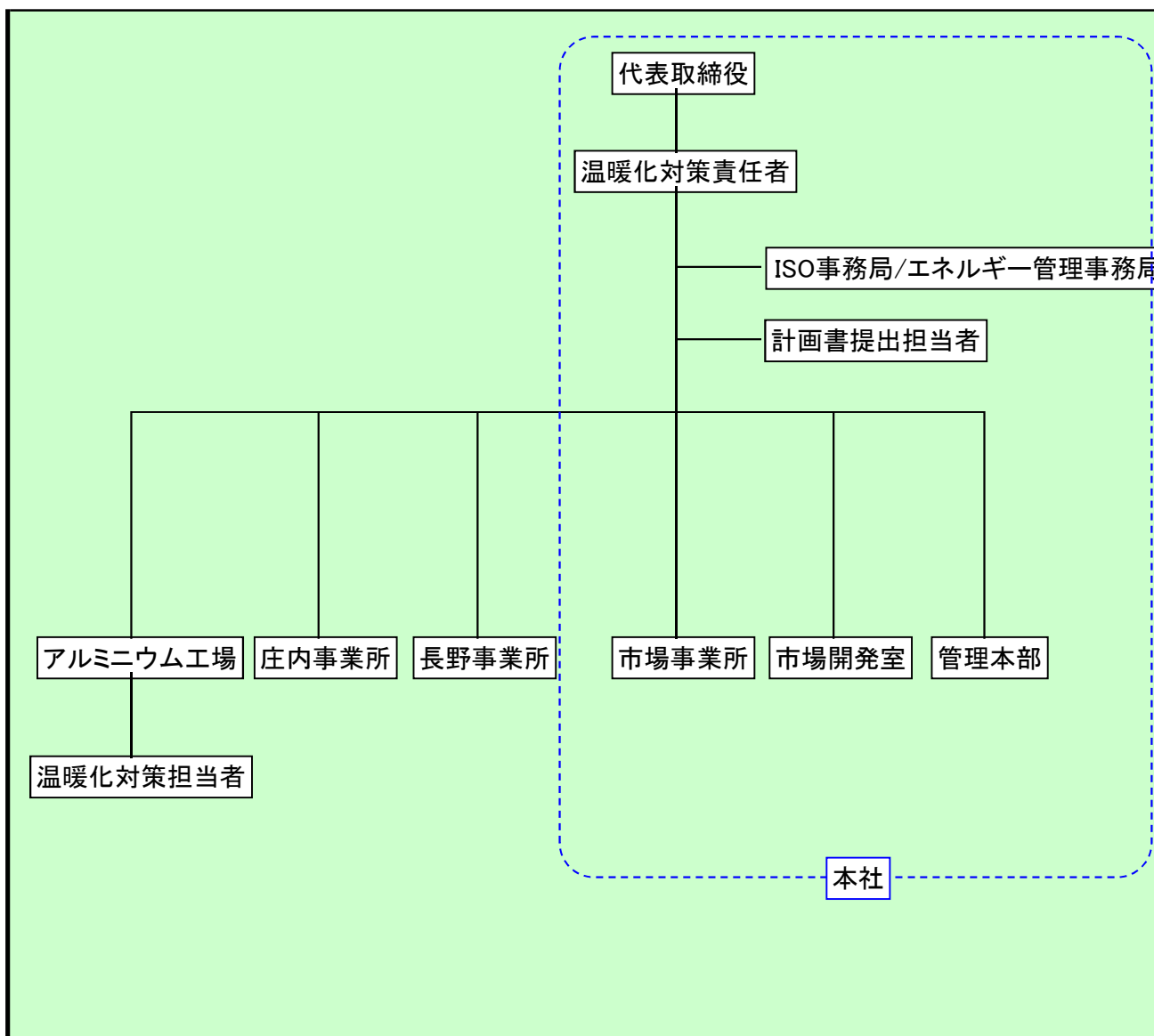
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	本社 管理本部 (TEL 0263-27-1850) 閲覧時間 8:25～17:25
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

IS014001活動の一環として、エネルギーの削減・管理を実施する。

#### 5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	4,401	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	23.23	単位	千t	
25年度	調整後排出量	3,783	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	189.45	t-CO <sub>2</sub> /	千t	
目標年度	目標排出量	4,269	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	183.77	t-CO <sub>2</sub> /	千t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	2.99	%	目標削減率	2.99	%		
目標設定に関する説明	省エネ法によるとエネルギー原単位は5年間平均前年度比1%削減目標となっているので、エネルギー起源二酸化炭素の排出量もそれに合わせた。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	4,164	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	21.30	単位	千t	
	調整後排出量	4,147	t-CO <sub>2</sub>	原単位	195.49	t-CO <sub>2</sub> /	千t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
26年度	削減率	5.38	%	削減率	-3.19	%		
排出量等の増減理由	アルミニウム工場で平成26年2月に集塵機の大型送風機をインバータ化することで132kWh/tの原単位電力使用量を115kWh/tまで落とすことができた。生産量は若干減少するも年間で約40万kWhの節約は二酸化炭素排出削減に大いに貢献できた。							
第二年度	排出量	4,066	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	22.16	単位	千t	
	調整後排出量	4,053	t-CO <sub>2</sub>	原単位	183.48	t-CO <sub>2</sub> /	千t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
27年度	削減率	7.61	%	削減率	3.15	%		
排出量等の増減理由	アルミニウム工場の生産数量が基準年度より4.6%少ないことに加え、平成26年1月からA重油使用設備の一部が再生油使用に変更となったことにより、A重油の使用割合が減少しているため。 (A重油使用量:再生油使用量…基準年度22%:78%、平成26年度20%:80%、平成27年度16%:84%)							
第三年度	排出量	4,394	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	21.84	単位	千t	
	調整後排出量	4,375	t-CO <sub>2</sub>	原単位	201.19	t-CO <sub>2</sub> /	千t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
28年度	削減率	0.15	%	削減率	-6.20	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	平成28年5月から本社敷地内の倉庫の一部で新規事業を開始したことにより、電力使用量が増加。新規事業分の排出量が234t-CO <sub>2</sub> であり、これを除くと排出量4,160t-CO <sub>2</sub> 、削減率5.48%で目標は達成できている。							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	6,991	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	23.23	単位	千t	
25年度	調整後排出量	6,991	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	300.95	t-CO <sub>2</sub> /	千t	
目標年度	目標排出量	6,781	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	291.92	t-CO <sub>2</sub> /	千t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	非エネルギーの再生油（廃油）を使用しているのはアルミニウム工場一箇所であり生産量の増減により総排出量も変化する。そのため総排出量はいくまで目安とし生産工場であることより原単位での削減を目標としていく。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する（以下同じ）。
第一年度	排出量	6,636	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	21.36	単位	千t	
	調整後排出量	6,636	t-CO <sub>2</sub>	原単位	310.67	t-CO <sub>2</sub> /	千t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
26年度	削減率	5.07	%	削減率	-3.23	%		
排出量等の増減理由	アルミニウム工場では生産量が低下し、更に平成26年1月よりA重油使用設備の一部が再生油使用に変更となったことが主な要因と思われます（高価格A重油から低価格再生油への使用変更）。							
第二年度	排出量	6,821	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	22.16	単位	千t	
	調整後排出量	6,821	t-CO <sub>2</sub>	原単位	307.81	t-CO <sub>2</sub> /	千t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
27年度	削減率	2.43	%	削減率	-2.28	%		
排出量等の増減理由	アルミニウム工場の生産量が基準年度より4.6%少なかったことと、平成26年1月からA重油使用設備の一部が再生油使用に変更となり再生油の使用割合が増加していることが主な要因と考えられます。							
第三年度	排出量	6,732	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	21.84	単位	千t	
	調整後排出量	6,732	t-CO <sub>2</sub>	原単位	308.24	t-CO <sub>2</sub> /	千t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
28年度	削減率	3.70	%	削減率	-2.43	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	アルミニウム工場の生産量が基準年度より6.0%少なかったため、総排出量での削減は目標達成となった。原単位に関しては、第一年度に実施した設備変更により再生油の使用割合が増加したため、達成できなかった。							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	322.69	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	206.38	t-CO <sub>2</sub>	削減率	36.04	%
26年度						
排出量等の増減理由	ハイブリッド車への更新が影響している。					
第二年度	排出量	343	t-CO <sub>2</sub>	削減率	-6.3	%
27年度						
排出量等の増減理由	自動車台数が増加したことと、遠方への納品や集荷が増加したため。					
第三年度	排出量	359	t-CO <sub>2</sub>	削減率	-11.26	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	第二年度と同様、自動車台数が増加し、遠方への納品や集荷も継続しているため、排出量が増加している。					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	310400 エネルギー消費原単位の管理	26	10	27	10
2	エネ起	320104 パーナーの定期的な点検、清掃及び整備の実績	26	20	27	10
3	エネ起	380701 ランプ交換時節電型に交換	26	10	28	0
4	エネ起	320101 空気比の設備業者による管理	26	40	27	10
5	その他 ガス	再生油の温度管理	26	30	27	0
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	618		17	13	19
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,585						
1,500k1未満	4	816	5	4,164	5	4,066	6	4,394
合計	5	4,401	5	4,164	5	4,066	6	4,394

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	6,991	6,636	6,821	6,732
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
合計	6991	6636	6821	6732

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他	11	13	13	13
合計	11	13	13	13
自動車総数	48	45	47	49
次世代車導入割合	22.9	28.9	27.7	26.5

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	なし
公共交通機関の利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	最短ルート設定等の効率的な輸送体制を組んでいる。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	2002年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	サーマルリサイクル等の産業廃棄物のリサイクル化。 廃油（再生油）調達によるエネルギーの削減化。
第一年度実績	長野事業所と市場事業所製造課で蛍光灯をLED化した。
第二年度実績	アルミニウム工場の溶解炉用集塵機と市場事業所製造課のエアコンを更新した。 太陽光発電設備を新設し、稼動を開始した（売電用）。
第三年度実績	本社敷地内の一部に人感照明を導入した。

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	高温保持の必要な再生油外部タンクに断熱塗料を塗布した。 集塵機モーターをインバーター化した。	104
その他		